

北の丸公園周辺地域基本構想（素案）

平成29年3月

千代田区

目次

I. 経緯-----	1	(3) 皇居周辺地域の北に位置し、賑わいのある生活空間や社会活動空間 として地域の人たちが参加するまちづくりを進めて行きます -----	15
1 ～「風格あるまち千代田」の実現を目指して～ -----	1		
2 検討の方向 -----	1		
3 検討の枠組みについて -----	1		
II. 地域の現況と特性 -----	2	V. 1 北の丸公園周辺地域構想図その1 -----	16
1 現況 -----	2		
(1) 地域の範囲 -----	2		
2 北の丸公園周辺地域の特性 -----	3	V. 2 北の丸公園周辺地域構想図その2 -----	17
(1) 上位・関連計画 -----	3		
(2) 歴史・文化資源の変遷 -----	4		
(3) 景観（眺望等）の状況 -----	5		
(4) 歩行環境 -----	6		
III. ゾーン別地域特性とまちづくりに関する意見集約 -----	7		
IV. 地域のまちづくりのあり方 -----	8		
1 コンセプト -----	8		
2 目指すべき姿を実現するための方策 -----	9		
(1) 江戸時代から明治、大正、昭和、平成と受け継がれた歴史、自然に 培われた地域の文化、魅力を守り、さらに育てます -----	9		
(2) それぞれの立場や障害の有無、価値観や文化の違いを受け入れ、誰 もが安全・安心で快適に地域の魅力を楽しむようにします -----	12		

I. 経緯

1 ～「風格あるまち千代田」の実現を目指して～

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京 2020 大会*と表記します）を契機として、千代田区では、「風格あるまち」の実現を目指すこととしました。

皇居周辺の環境整備、とりわけ、「北の丸公園周辺地域」は、区が主体的に整備できる施設に囲まれています。施設の整備、利用を千代田区が先導して進め、併せてマネジメントも含めたハード、ソフト両面で「オリンピックレガシー」の創造を図ります。

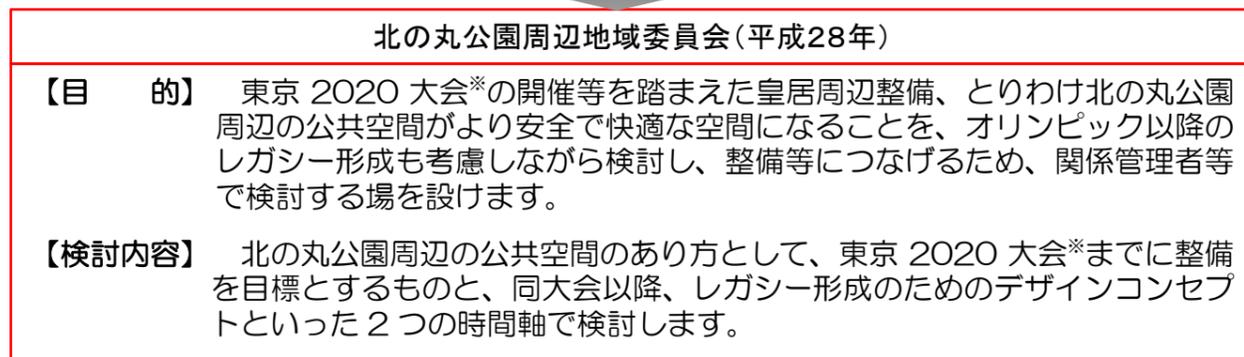
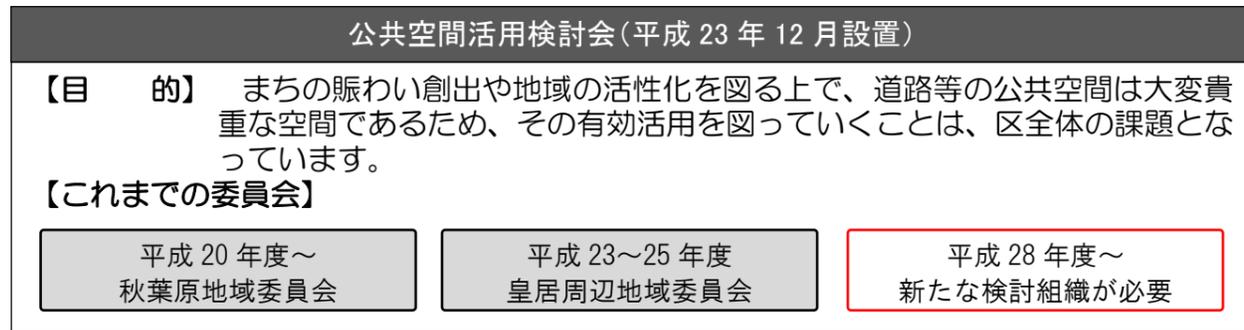
2 検討の方向

- 千代田区が整備を進めるにあたり、豊かな自然環境、時代を重ねた歴史的な景観、潤いのある水辺空間など、この地域の魅力を踏まえた取組みをすすめます。
- この地域は、区民、ボランティアの方々、道路や公園等公的施設の管理者、また、観光客・来街者など多様な人々が関わっています。そうした方々のご意見を頂き、検討を進めます。

3 検討の枠組みについて

(1) 地域委員会委員構成

北の丸公園周辺地域の公共空間整備に係る検討は、平成 28 年度より以下のとおり、「北の丸公園周辺地域委員会」で行われています。



(2) 地域委員会委員構成

表 地域委員会委員

平成 28 年 10 月 20 日現在

区分	所属・役職	氏名	
学識経験者	千代田区参与・公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター顧問	小澤 一郎	
	東京大学名誉教授・前文化庁長官	青柳 正規	
	日本大学理工学部まちづくり工学科 准教授	阿部 貴弘	
地域・団体・企業等	富士見地区町会連合会 会長	向笠 滋	
	さくら美守り隊	窪田 憲子	
	公益財団法人日本科学技術振興財団 理事	新元 一弘	
	一般財団法人 国民公園協会 専務理事	伊藤 哲夫	
	千代田区商工振興連絡調整会議	木下 彩	
	一般社団法人おもてなしランナー協会	桃園 貴美子	
	株式会社ジェイティービー 観光戦略室観光立国推進担当マネージャー	山下 真輝	
	新産業文化創出研究所長	廣常 啓一	
行政	国	国土交通省 関東運輸局観光部観光地域振興課長	岡村 清二
		環境省 皇居外苑管理事務所長	松本 俊男
		宮内庁 管理部管理課長	石原 秀樹
	都	第一建設事務所長	新谷 景一
		警察 麹町警察署長	衣川 淳一
	千代田区	地域振興部長・オリンピック・パラリンピック担当部長	立川 資久
		文化スポーツ担当部長	河合 芳則
		環境まちづくり部長	細越 正明
		まちづくり担当部長	坂田 融朗

(3) 検討の経過及び今後の予定

表 地域委員会での検討内容

回(開催日)	内容
第 1 回目委員会 (平成 28 年 10 月 20 日)	○ 北の丸公園周辺の位置づけ等を 4 点の視点で説明しました。 ○ 各委員のこれまでの活動や地域に対する考えを頂きました。
第 2 回目委員会 (平成 28 年 12 月 20 日)	○ ビデオで地域の現状を案内し、各委員に意見を頂きました。 ○ 地域の現状を特性や利用者等によるゾーンに分けて説明しました。 ○ 各委員に東京 2020 大会*時及び開催後においてどのようなことが必要なのかについて考えを頂きました。
第 3 回目委員会 (平成 29 年 2 月 21 日)	○ 基本構想(素案)を提示しました。
パブリックコメント	○ 4 月予定
第 4 回目委員会	○ 基本構想(案)の了承

II. 地域の現況と特性

1 現況

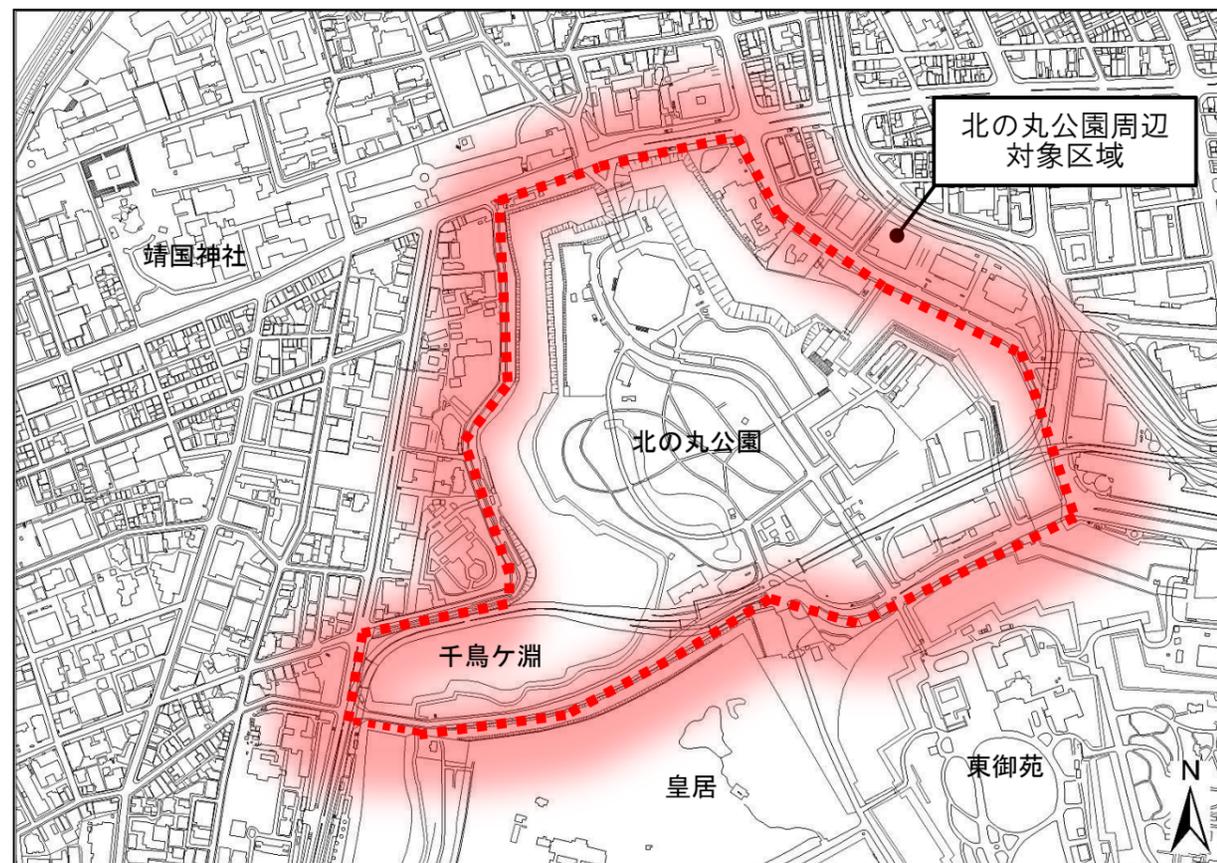
(1) 地域の範囲

北の丸公園を囲む靖国通り、千鳥ヶ淵緑道、代官町通り、内堀通りとその沿道を範囲とします。

【道路の特色】

- ① 靖国通り : 九段坂の歴史性を尊重し、濠を望む通り（都道）
- ② 千鳥ヶ淵緑道 : お濠を望む、「さくら」と「四季の花」の道（区道）
- ③ 代官町通り : 通り西側の皇居と代官町通り土手の緑に覆われた静かな空間と東の竹橋側の濠を望む変化に富む通り（区道）
- ④ 内堀通り : 濠の水辺に近く、石垣が連続する景観を望む通り（都道）

図 北の丸公園周辺地区検討対象区域図

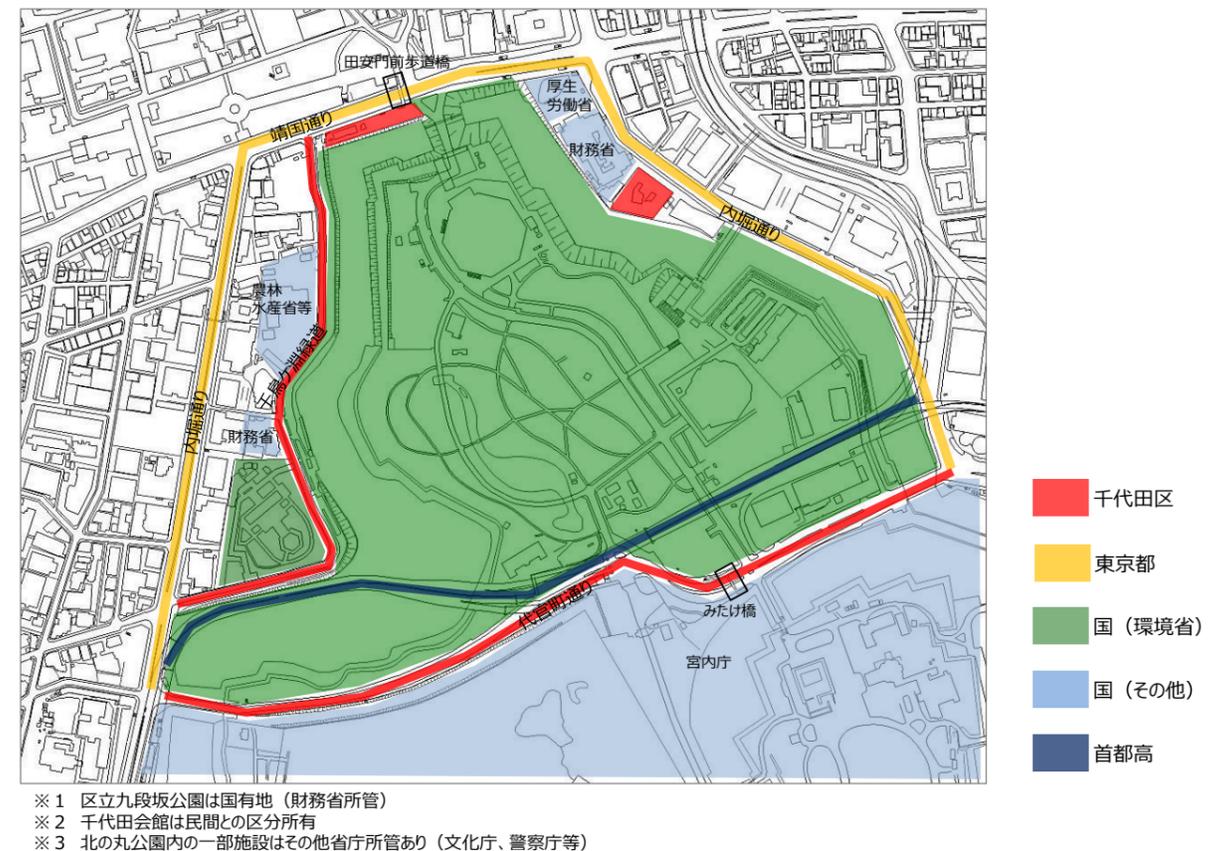


(2) 管理の現状

1) 公共施設の管理者

「九段坂公園」、「旧麹町消防署九段出張所跡」、「千鳥ヶ淵緑道」、「代官町通り」など、区が主体的に整備できる部分が多いです。国、都の管理範囲が接しており、連携が求められます。

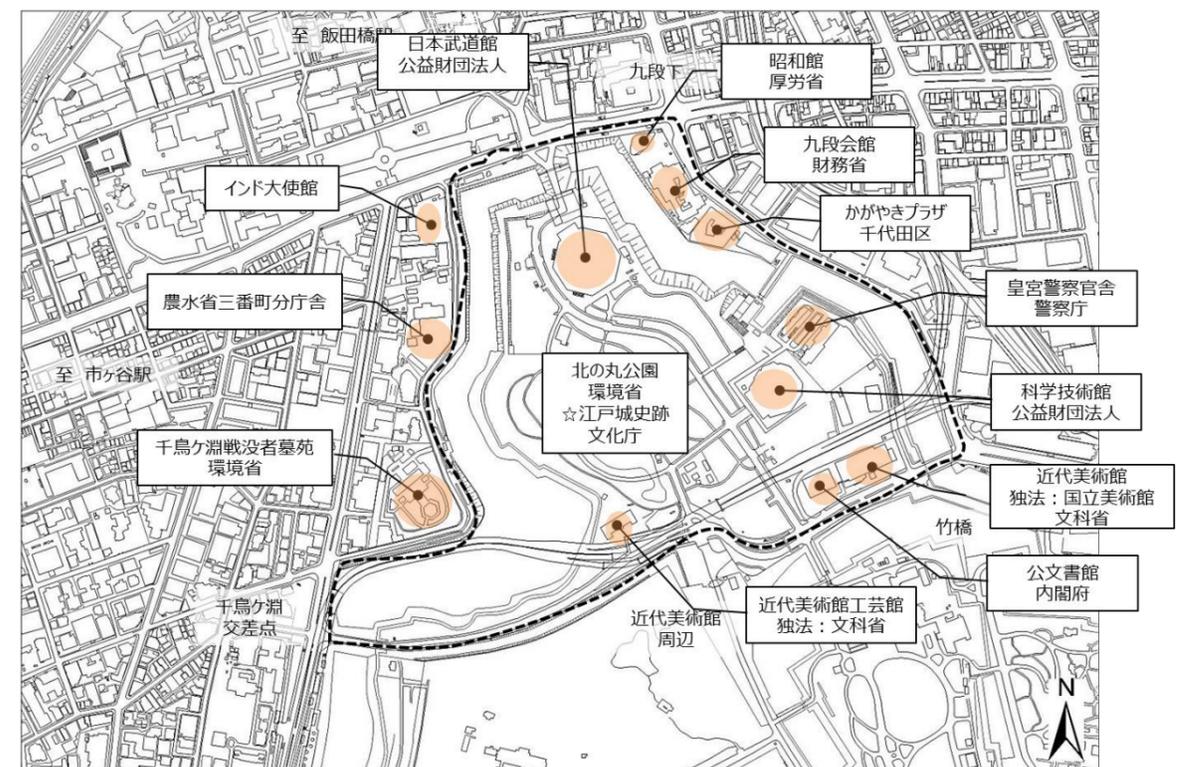
図 公園施設管理者の現況



2) 近隣の施設等の状況

近隣には、歴史的建造物や文化施設、スポーツ施設、その他の公共施設が存在します。また、管理者は、多岐に渡ります。

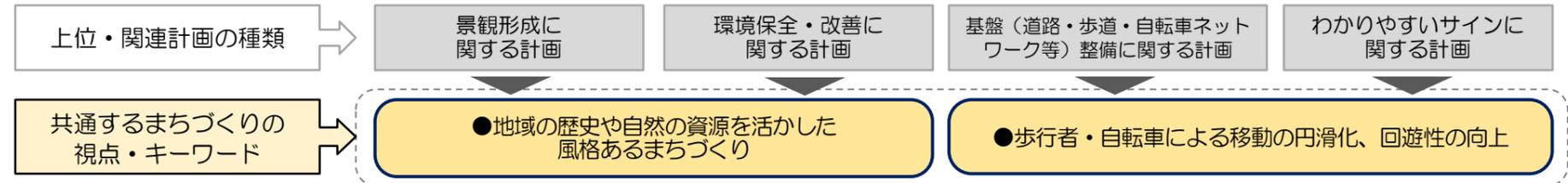
図 公共建築の配置と管理者



2 北の丸公園周辺地域の特性

(1) 上位・関連計画

北の丸公園周辺地域に係る主な上位計画における、まちづくりの視点は、「地域の歴史や自然の資源を活かした風格あるまちづくり」と「歩行者・自転車による移動の円滑化、回遊性の向上」の2つとなります。



口本地区における国、都、区による主な上位・関連計画

●皇居周辺道路景観整備計画（平成元年6月、国）

- 皇居周辺にふさわしい装いを持った道路景観を作り出していくための整備構想及び事業計画

●千鳥ヶ淵環境再生プラン（平成25年4月、国）

- 千鳥ヶ淵の水質改善とともに、生物、景観、利用など様々な観点から千鳥ヶ淵の目指すべき将来像とその道筋を示した環境改善に関する構想

●「国内外旅行者のためのわかりやすい案内サイン標準化指針」（平成20年2月、平成27年2月改正、都）

- 外国人旅行者や障害者、高齢者等の方々が安心してまち歩きを楽しめるよう、わかりやすい案内サインの普及を図るため策定
- 観光庁が策定した「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」等を踏まえ、平成27年2月に改定

●区の花さくら再生計画（平成16年3月、区）

- 区内の桜を守り、次世代に引き継ぐため、エリア別の今後の再生指針を示した計画
- 【皇居北縁部周辺（代官町通り）整備指針】
- さくら根系の確保といや地現象の解消

●「公共サインデザインマニュアル」（平成28年3月、区）

●「サインガイドライン」（平成28年3月、区）

- 区内に設置されている各種案内表示等（サイン）を計画的に整備していくための「公共サインデザインマニュアル」と、区内民間事業者等が今後サインを整備する際に参考としてもらう「サインガイドライン」を策定

図 上位・関連計画で位置づける北の丸公園周辺の将来のまちづくりの方向性



(2) 歴史・文化資源の変遷

北の丸公園周辺地域の歴史・文化資源は、江戸城の遺構を骨格に、明治・大正・昭和に建造された建物、施設等が現在まで多く残されています。

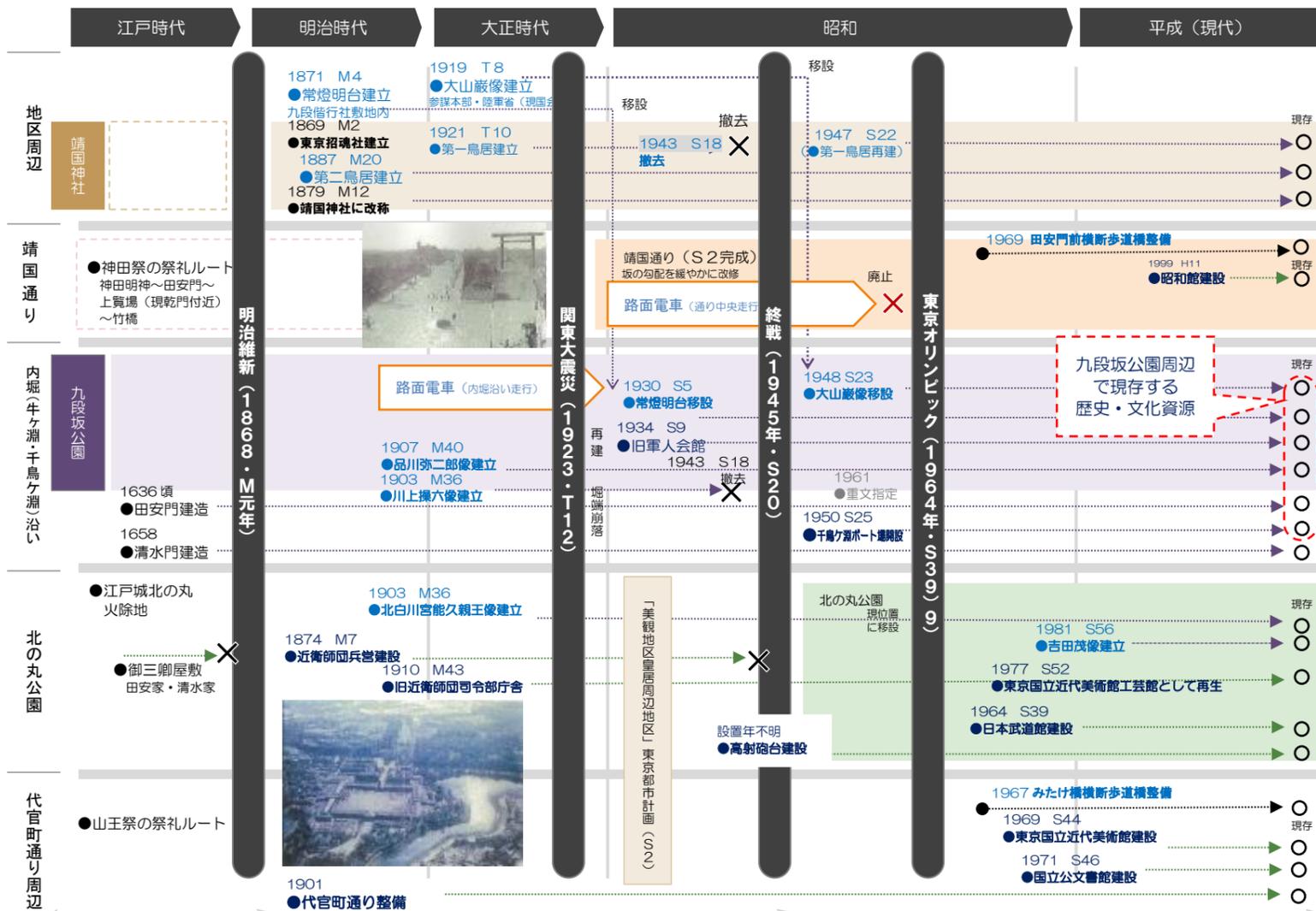
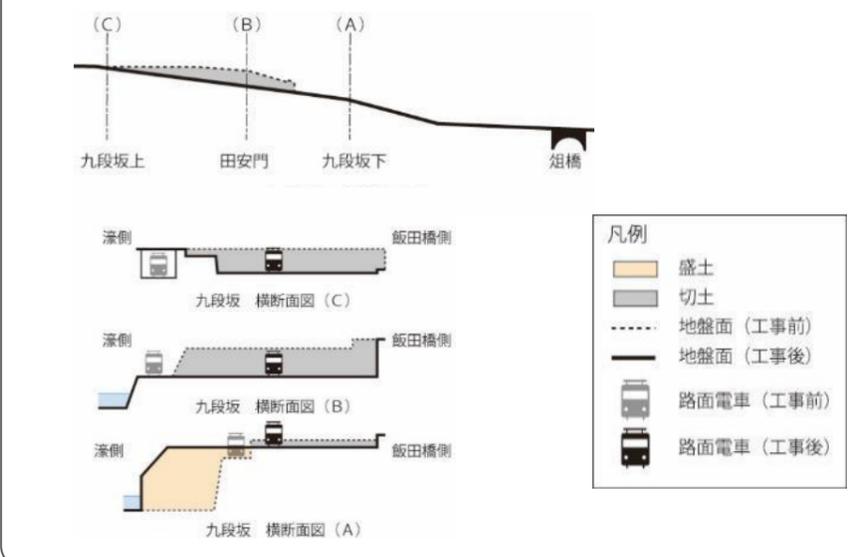


図 歴史及び土地利用の変遷



□靖国通りの断面変遷について(大正15年~昭和2年)



(3) 景観（眺望等）の状況

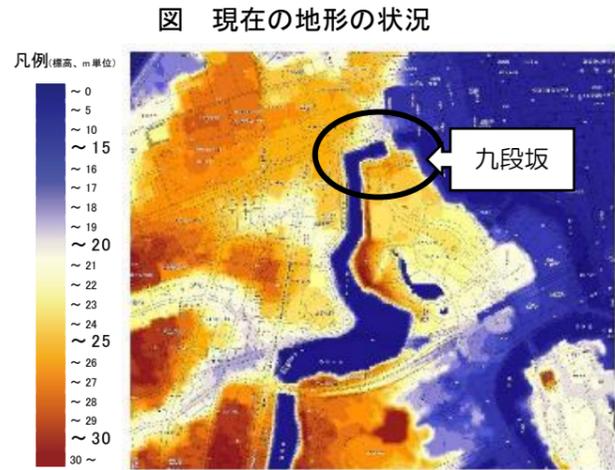
北の丸公園周辺地域の地形は、西側の麴町台地と千鳥ヶ淵を隔てて田安台地があり、東側は日比谷低地が広がっています。主な景観的な要素としては、江戸城の遺構であるお濠と桜並木が特徴といえます。

□地形

武蔵野台地の東端に位置し、九段坂上からはかつて地形に起因する眺望（遠景）が得られました。

○地区の地形

- 徳川家康が江戸に入る前の北の丸周辺地区の地形は、番町地区の沢筋が集まり、蓮池濠を経て日比谷入江に流れこむ地形でした。
- その後、この川は代官町で堰き止められ、田安の台地と吹上の台地をつなぐことで千鳥ヶ淵と下流に蓮池濠が誕生し、竹橋から吹上を通り半蔵門へ抜ける下町日本橋と山手麴町を結ぶ幹線道路が作られ諸人の道筋となりました。
- 千鳥ヶ淵の水位は、番町地区の三つの谷が集まる五味坂のレベルに合わせて、田安門土橋下から牛ヶ淵へ落ちるようになっています。



基盤地図情報 数値標高モデル（国土地理院）より

□眺望景観の変遷

【江戸～明治】近景・中景・遠景

- 九段坂上からは、近景となる壕や靖国神社の鳥居、遠くは富士山、東京湾・房総丘陵までの眺望が得られました。



【現代】近景が主+スポット的な中景

- 近景となる壕や鳥居など、景観資源自体は昔から変わらないが、樹木や建造物などに視界を遮られるため、眺望スポットは限られています。
- 遠景は、周辺市街地の高層化に伴い、現在では失われている。代わりに、スカイツリーや東京タワーなど東京のランドマークが視認できます。

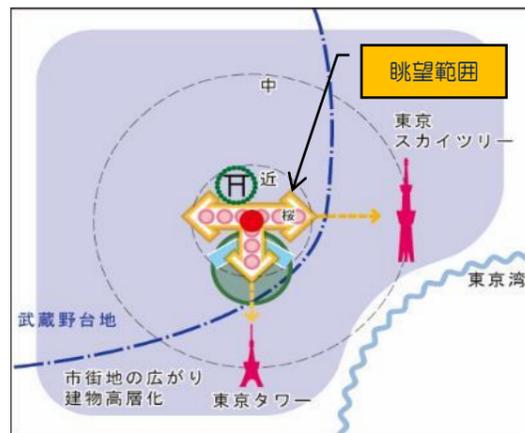
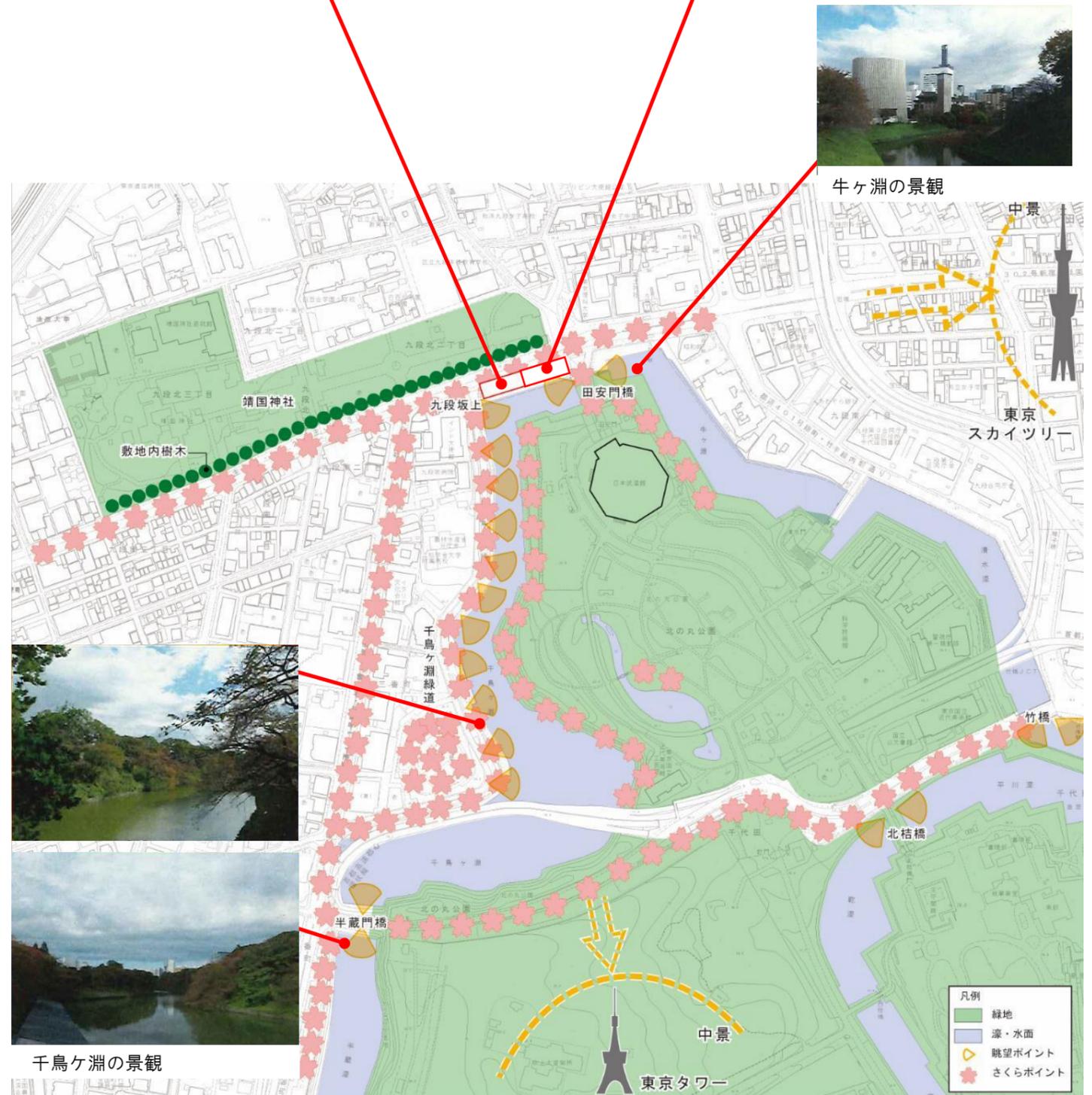


図 本地域周辺の眺望スポット



(4) 歩行環境

北の丸公園周辺地域の歩行環境は、外周部の靖国通り及び内堀通り、代官町通りの歩道、千鳥ヶ淵緑道により一周のネットワークが形成されています。

靖国通りと代官町通りは、東京メトロ地下鉄駅の九段下と竹橋から北の丸公園に向けて、一部、坂や段差が存在します。

北の丸公園周辺の歩行空間には、総合案内板、史跡案内板、方向案内板が設置されています。



①案内板



②史跡案内板[東京都]



③「千鳥ヶ淵さんぽみち」[環境省]



④千鳥ヶ淵緑道



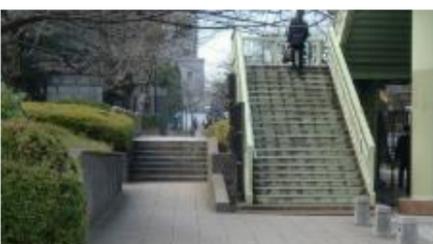
⑤石積みのオブジェ名称版



⑥千鳥ヶ淵緑道内の公共トイレ[区]



⑦広幅員道路にかかる、みたけ橋の歩道橋



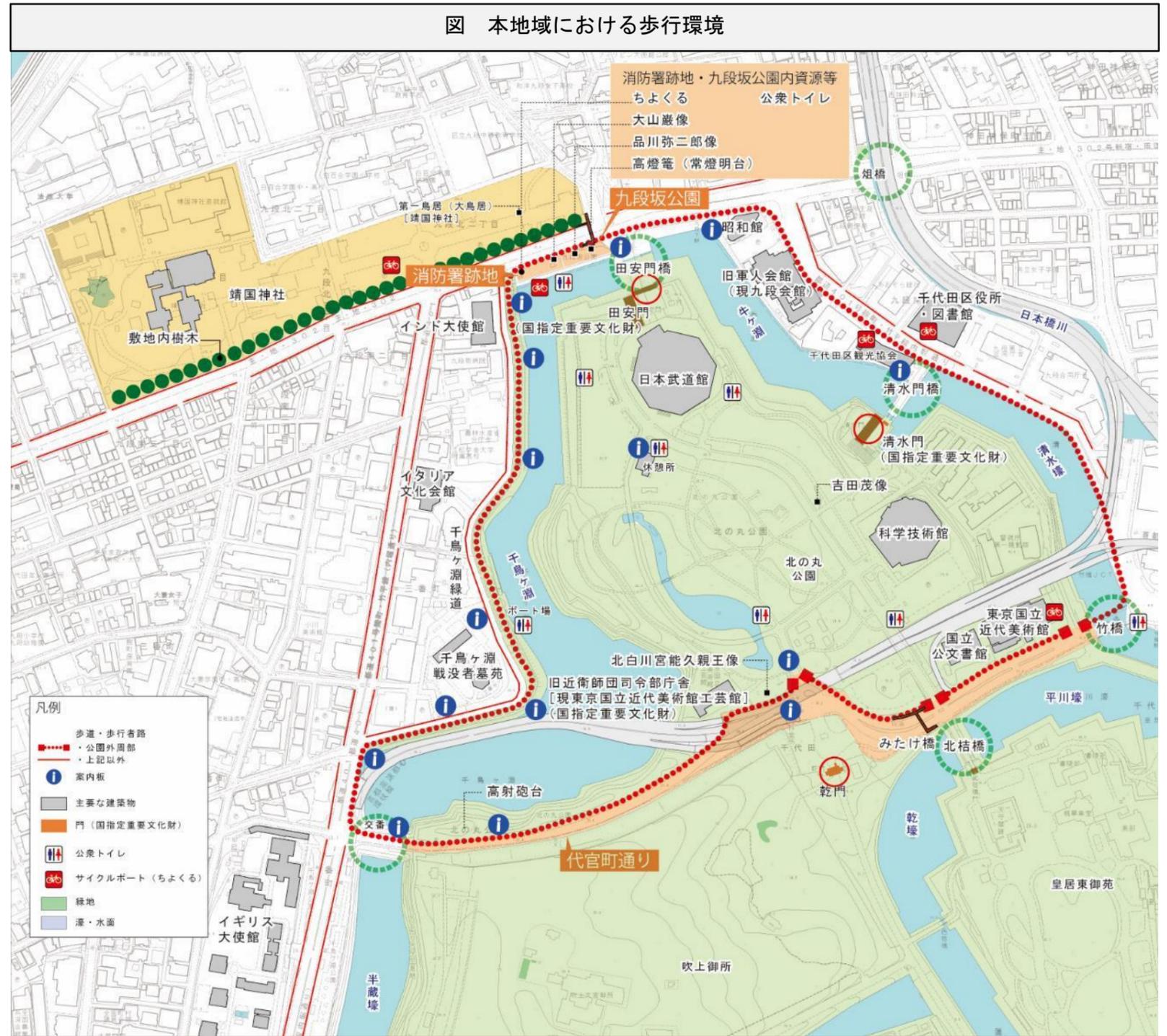
⑧田安門前歩道橋足元(南側)の状況



⑨代官町通りの状況



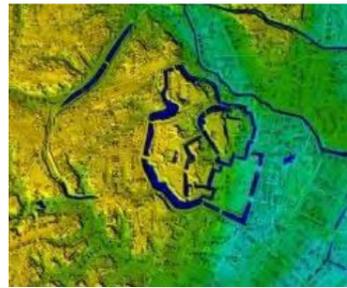
⑩田安門前歩道橋付近歩道(北側)の状況



Ⅲ. ゾーン別地域特性とまちづくりに関する意見集約

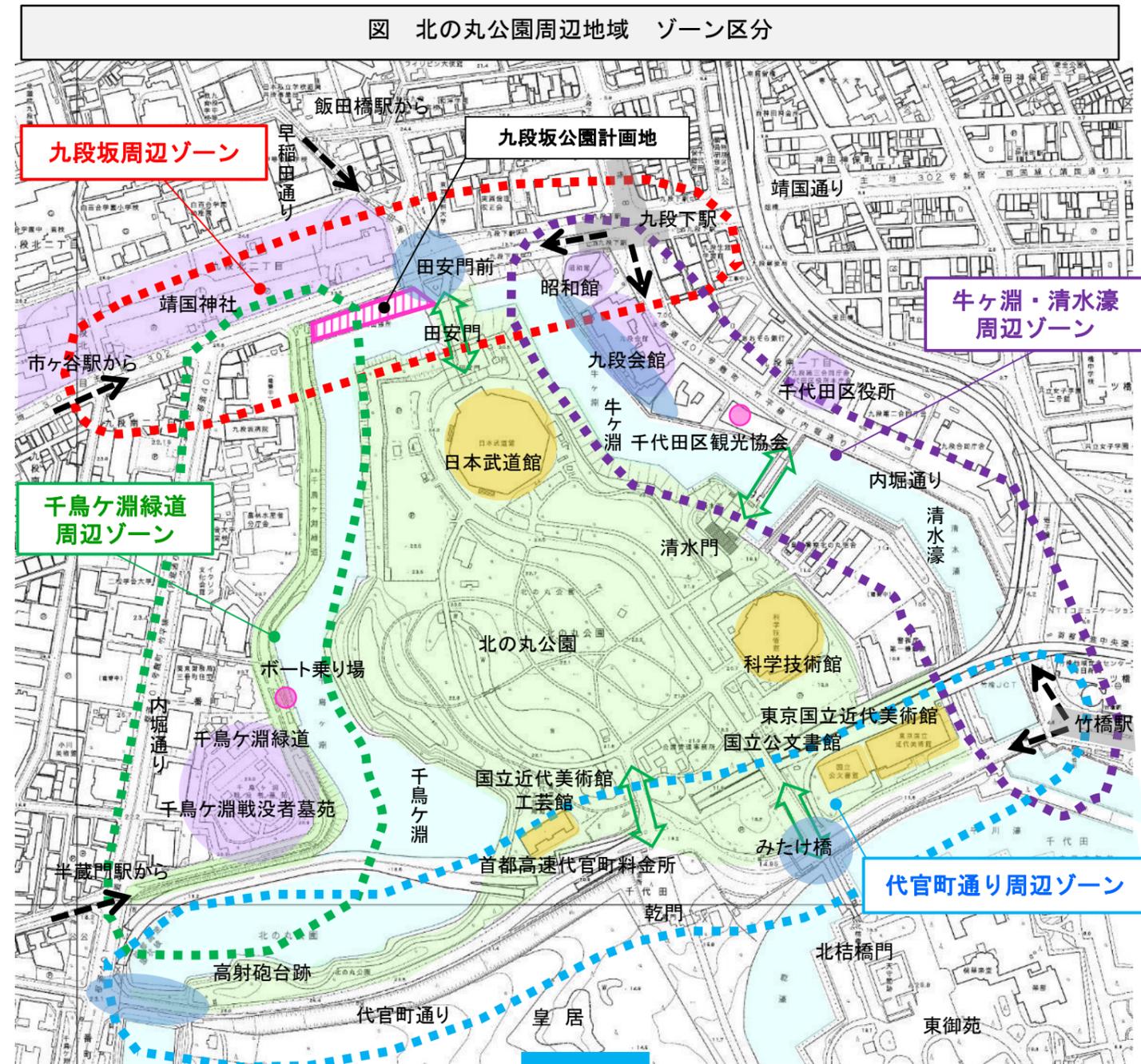
□地域全体の特性

- 地域の位置づけ……皇居・北の丸エリアは、国レベルの施設が集まる首都東京・日本の顔であり、国民全体の財産といえるエリアです。
- 立地特性……江戸城は、大河川の水害を避け、東京湾にらみをおかせる「武蔵野台地の先端」に築き（右図）、台地には家臣の武家屋敷を配置し、低地は干陸化し江戸市中とした。これが、「大きな坂道がある」、「街の雰囲気台地の上・下で異なる」という本地区の特質となっています。
- 歴史・文化などの資産……江戸城の城郭史跡はもとより、明治～昭和に至る様々な時代の資産等が存在し全国から、史跡観光だけでなく、様々な目的で多様な世代が訪れます。
- 景観……「城郭と豊かな緑」「桜と史跡」「靖国神社の大鳥居」など、歴史と自然が調和する「日本のかつダイナミックな景観」を特徴とします。
- 交通……地下鉄3駅や市ヶ谷駅、飯田橋駅など公共交通のアクセスに恵まれます。



□ゾーン毎の特性

ゾーン名	ゾーンの特性
九段坂周辺ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 田安門から早稲田通りに抜ける江戸五門の一つです。 東京 2020 大会*の会場の一つである日本武道館への入口です。 九段坂上は、古より東京湾の眺望、観月の名所、現在はお濠と千鳥ヶ淵緑道等の桜を望む絶好の眺望ポイントです。 九段坂公園は、北の丸公園、千鳥ヶ淵緑道の入口を結ぶ場所にあり、歴史的建造物である靖国神社の常燈明台や、明治期の偉人である品川弥二郎や大山巖の銅像が立地しています。
千鳥ヶ淵緑道周辺ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 千鳥ヶ淵緑道は、水と緑豊かで旧江戸城城郭の変化を楽しみながら歩ける遊歩道です。また、全国でも有数の桜の名所となっており、お花見には 100 万人が訪れます。 千鳥ヶ淵ボート場があるなど水辺利用ができます。 靖国神社と千鳥ヶ淵戦没者墓苑を結ぶ場所です。
代官町通り周辺ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 北の丸地区と皇居周辺地区の結節点に位置しています。 竹橋から乾門前までの東側は、パブリックな北の丸公園とセミパブリックな東御苑の入口前にあり、北の丸公園側の沿道は国立近代美術館等が立地する国を代表するような重要な場所です。 西側は、皇居と代官町通り土手に囲まれた静かな空間で、代官町通り土手は、広い空とお濠と北の丸周辺の眺望が広がる絶好の散策路です。 南側歩道は、皇居周辺のランニングコース（左回り）となっています。
牛ヶ淵・清水濠周辺ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 牛ヶ淵沿いは、お濠に直接建物敷地が接する場所となっています。 清水濠沿いは、内堀通りに面してお濠沿いの景観を楽しみながら歩ける場所です。 中間点には、北の丸公園の入口ともなる重要文化財清水門があり、清水門は雁木坂など江戸城跡の中でも江戸時代の当時の様子が見られる重要な場所です。 区役所をはじめとする官公庁の建物が並んでいます。



□意見の集約

- ① 区民にとって身近な存在である「北の丸公園周辺地域」が持つ歴史性や文化性、豊かな自然を再確認するとともに、魅力を「見える」ようにしていきます。
- ② 「北の丸公園周辺地域」が持つ魅力を、区民、在勤・来街者、施設の管理者が共有します。
- ③ 施設整備を進めるにあたり、関係する公共施設管理者との協議を行い、このエリアにしかない魅力を十分に生かし、近接する日本の象徴的な空間である皇居等を含めた空間としての「北の丸公園周辺地域」を活かして行きます。

IV. 地域のまちづくりのあり方

1 コンセプト

(1) 北の丸公園周辺地域のまちづくりコンセプト

～ 世界に誇れる風格のあるまち「北の丸」 ～

- 江戸の歴史、文化、豊かな自然環境が織りなす美しい都市に、訪れ、暮らす、すべての人々が癒される、おもてなしのあるまち
- 地域の文化・魅力を知り、伝え、広げ、共有をしていくまち

(2) まちづくりの基本方針

□ 江戸時代から明治、大正、昭和、平成と受け継がれた歴史、自然に培われた地域の文化、魅力を守り、さらに育てます

- ① 史跡、文化財その他の歴史的な資源を保全・活用します
- ② お濠の水辺や北の丸公園の森などの自然環境を保全します
- ③ この地に積み重ねられてきた現在の姿を守り、さらに育てます
- ④ 保全した資源は、地域の魅力として体験・学習等に活用しながら後世に継承します
- ⑤ 次の世代へ繋がる魅力の向上に取り組めます

□ それぞれの立場や障害の有無、価値観や文化の違いを受け入れ、誰もが安全・安心で快適に地域の魅力を楽しむことができますようにします

- ① 関係者の協働による「おもてなし」を推進します
- ② 関係者のそれぞれの立場でのマナー（行儀作法）を向上させます
- ③ 周辺地域及び地域内での歩行空間の連続性の確保と移動の円滑化をすすめます
- ④ 多様な活動を支援するサービス機能を充実します
- ⑤ 適切な情報提供及び案内を充実させます

□ 皇居周辺地域の北に位置し、賑わいのある生活空間や社会活動空間として地域の人たちが参加するまちづくりを進めていきます

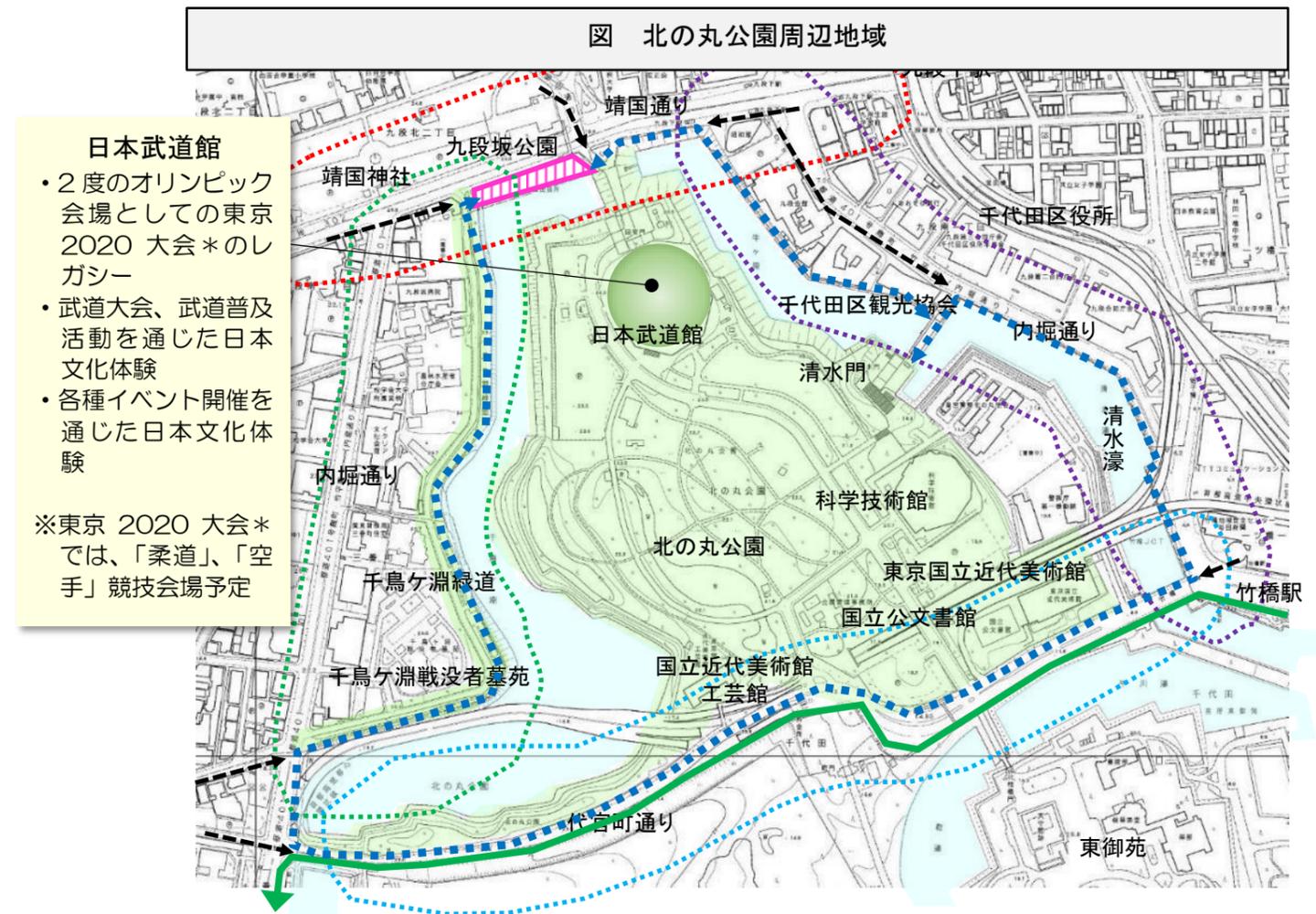
- ① 地域の方々とともに、北の丸公園周辺の公共施設の維持管理及び利活用について考えていきます。
- ② 立地する各施設のそれぞれの活動を尊重し、また、連携します。

(3) ゾーン別のまちづくり方針

表 まちづくり方針

ゾーン名	九段坂公園 周辺ゾーン	千鳥ヶ淵緑道 周辺ゾーン	代官町通り 周辺ゾーン	牛ヶ淵・清水濠 周辺ゾーン
まちづくりの テーマ	九段坂と歴史体験	千鳥ヶ淵の さくらと親水	森と文化体験	お濠の自然と風景 観賞
まちづくりの 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○江戸時代からの名所九段坂を北側のアクセス・交流拠点とします ○地形に由来する高台から牛ヶ淵や千鳥ヶ淵の眺望を楽しめる場所とします ○昭和館、田安門、靖国神社、九段坂公園内の常燈明台や銅像等を通じてこの地域に重なる歴史を体験できるようにします 	<ul style="list-style-type: none"> ○お濠に沿うさくらの名所としての千鳥ヶ淵の景観を守ります ○お花見やさくらの保全活動を通じた日本文化を発信します ○千鳥ヶ淵緑道の散策やボート遊び等、水とふれあひ、お濠の水面からしか味わえない体験を継承します 	<ul style="list-style-type: none"> ○皇居の森、北の丸公園の森に囲まれた風格のある空間とします ○東京国立近代美術館、国立公文書館、科学技術館等を通じて、近代から現代にいたる文化体験を継承します ○南側の歩道は、「皇居ランニングコース」となっており、歩行者との通行区分します 	<ul style="list-style-type: none"> ○牛ヶ淵と清水濠の2つのお濠の水面近くを歩ける空間とします ○水辺の歩行空間から北の丸の森の中に清水門、武道館の屋根の眺望を残します ○お濠に面した建物敷地での水辺を活かした生活・にぎわい空間とします

図 北の丸公園周辺地域



2 目指すべき姿を実現するための方策

(1) 江戸時代から明治、大正、昭和、平成と受け継がれた歴史、自然に培われた地域の文化、魅力を守り、さらに育てます

① 史跡、文化財その他の歴史的な資源を保全・活用します

- 歴史的・文化的な価値を有し、地域で広く親しまれている建造物などは、地域の景観保全という観点を加えて、その建築物の個性を活かしつつ魅力を引き出すような整備を検討します。



国立近代美術館工芸館
(北の丸公園)



九段会館 (旧軍人会館)

- 歴史的な価値を有する構造物、銅像等は、現在そこに存在するという歴史的な事実、経緯を尊重してできる限り保全に努めます。また、保護や保全だけでなく、その歴史的な価値や意義が理解できるような方策を施し、魅力アップや学習の手助け等になるよう努めます。



靖国神社常燈明台
(九段坂公園)



陸軍大将大山巖像
(九段坂公園)



高射砲台跡
(代官町通り土手)

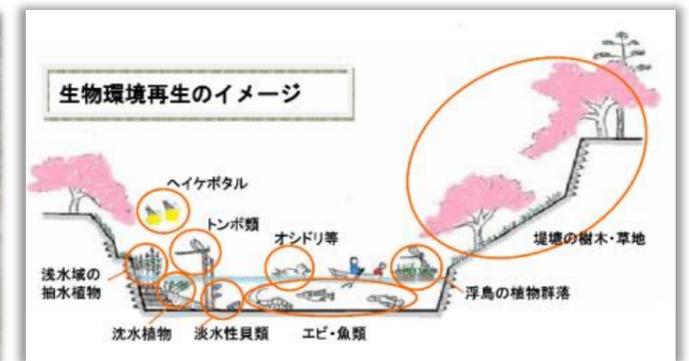
※九段坂公園内の常燈明台や銅像等の説明板等の設置、代官町通り沿いの旧高射砲台跡などの周知を図ります。

② お濠の水辺や北の丸公園の森などの自然環境を保全します

- 皇居周辺は、都市内に残る貴重な自然環境・財産です。この認識を地域で共有し保全に努めます。
- 特に、皇居の森から北の丸公園の森につづく生物の生息環境の連続性の確保に努めます。また、お濠沿いは都市内に残る貴重な水辺の生き物の生息環境として水質の改善及び維持に協力していきます。



水質改善のために一時的にお濠の水を抜く“かいぼり”の様子
(千鳥ヶ淵、九段坂公園前)



お濠の水辺を中心とした生物環境再生のイメージ
(千鳥ヶ淵環境再生プラン/環境省より)



水質改善が進んでいる証のひとつとなる“水生植物”
(清水濠まちかど庭園前)



みどりが連続する歩行空間
(代官町通り・代官町通り土手)

※北の丸公園の自然環境保全、お濠の水面、水質改善及び維持(様々な方策)を図ります。

③ この地に積み重ねられてきた現在の姿を守り、さらに育てます

- 視点場等の確保に努め、眺めを楽しめるような、豊かで多様な水辺、緑地を維持・保全していきます。



消防署跡地からの眺め



清水門

- 史跡、文化財及びその他の歴史的な景観資源の周辺では、これらの歴史的な景観を阻害せず、美観を向上させるような施設整備を推進します。



美観に配慮した舗装や柵の整備事例
(内堀通り／東京都)



美観に配慮した舗装や柵の整備事例
(靖国通り／東京都、柵は環境省)

- 明治以降、北の丸公園周辺にて桜が植栽されてきました。現在、都内有数の桜の名所としての評価は、各管理者が共有する地域の資源です。既存樹木の適切な管理を行い、新たな公共施設等の整備に際しても、名所を意識した緑化推進等を図ります。また、地域全体で多様な桜を用いることで少しでも長い期間にわたり“さくら”を楽しめる空間づくりに努めます。



千鳥ヶ淵のさくら
(九段坂公園付近)



さくらを楽しむ人々



さくらの健全な生育に配慮した緑化空間の改修

- 歴史的な景観資源のライトアップ、生き物の生息環境に配慮した減灯など、その場所の特性を考慮した夜間の照明環境の創出に努めます。



竹橋のライトアップ
(代官町通り/千代田区)



靖国神社常燈明台が際立つ照明の検討
(九段坂公園/千代田区)

■ホタル保護のための牛ヶ淵地域ルール（抜粋）

○屋外照明

新しく照明を設置する場合は、設置場所、照射方向、光の量、及びそれらに関わる照明器具構造を工夫し、濠の水面・石垣を可能な限り照らさないようにします。また、ハイケボタルにとって比較的影響の小さい橙色系の光源などが望ましいため、色調についても工夫をします。すでに設置した照明については、光量の調節、かさの活用、必要性の低い場所の消灯などにより、濠と石垣への光を押さえる工夫をします。

○参加者

(株)千代田会館/環境省皇居外苑管理事務所/旧九段会館（一般財団法人 日本遺族会）/国家公務員共済組合連合会 九段坂病院/昭和館/千代田区

生き物の生息環境に配慮した照明環境のための「ホタル保護のための牛ヶ淵地域ルール」

- ④ 保全した資源は地域の魅力として、体験・学習等に活用しながら後世に継承します

- 景観的な資源を守りつつ、“水と森ある景色”を楽しめるようにお濠沿いに歩行者空間等を配置するなど、水辺の眺望が楽しめるような取組みを進めます。



建替えに合わせた水辺の歩行空間整備
(かがやきプラザ/千代田区)



建物の屋上を活用した展望施設
(千鳥ヶ淵ボート場/千代田区)

- 水辺のアクティビティを充実するための方策を検討します。



散策で水辺の景色を楽しむ



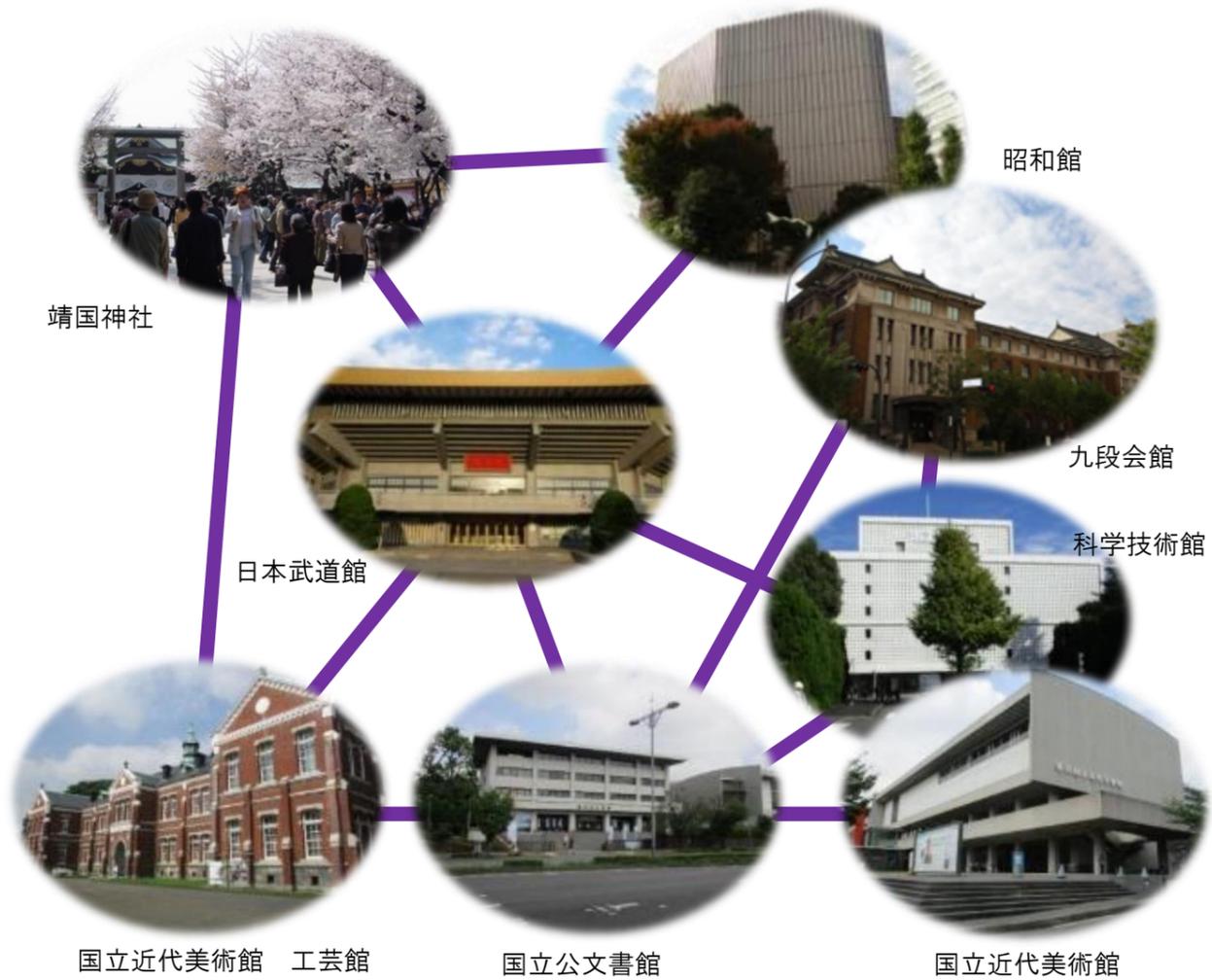
千鳥ヶ淵ボート場

⑤ 次の世代へ繋がる魅力の向上に取り組めます

- 周辺公共施設等においては、特に「体験」や「学習」のための展示やイベントの開催を積極的に進めます。イベント開催時においては、施設間の連携や集約化を図る等して地域の魅力向上に努めます。



自然解説板（北の丸公園）



注：北の丸公園周辺での連携を図るべき施設の候補として、「千代田区役所」、「かがやきプラザ」、「九段生涯学習館」、「千鳥ヶ淵戦没者墓苑」等があります。

- (2) それぞれの立場や障害の有無、価値観や文化の違いを受け入れ、誰もが安全・安心で快適に地域の魅力を享受できるようにします

① 関係者の協働による「おもてなし」を推進します

- 地域住民及び周辺で活動する各種団体（ボランティア団体、NPO 法人、企業等）の「おもてなし」教育を推進するとともに、その活動を広げます。



おもてなしランナーによる「道案内・各種スポット案内」



おもてなしランナーによる「地域貢献・社会貢献」

第2期生 募集! 東洋ランナーを世界に誇れる、おもてなしランナーへ!

おもてなしランナー育成プログラム

2016年
4月6日(水曜日)
4月9日(土曜日)
スタート(全2回)

プログラムスケジュール内容	種別	内容	講師
1. 基礎講座 4月6日(水曜日) 10:00-13:00	基礎講座	おもてなしランナーの役割や役割の重要性について学びます。	おもてなしランナー協会
2. 実践講座 4月9日(土曜日) 10:00-13:00	実践講座	おもてなしランナーとしての実践的な役割について学びます。	おもてなしランナー協会
3. 応用講座 4月6日(水曜日) 13:30-16:30	応用講座	おもてなしランナーとしての実践的な役割について学びます。	おもてなしランナー協会
4. 応用講座 4月9日(土曜日) 13:30-16:30	応用講座	おもてなしランナーとしての実践的な役割について学びます。	おもてなしランナー協会
5. 応用講座 4月6日(水曜日) 17:00-19:00	応用講座	おもてなしランナーとしての実践的な役割について学びます。	おもてなしランナー協会
6. 応用講座 4月9日(土曜日) 17:00-19:00	応用講座	おもてなしランナーとしての実践的な役割について学びます。	おもてなしランナー協会
7. 応用講座 4月6日(水曜日) 19:30-21:30	応用講座	おもてなしランナーとしての実践的な役割について学びます。	おもてなしランナー協会
8. 応用講座 4月9日(土曜日) 19:30-21:30	応用講座	おもてなしランナーとしての実践的な役割について学びます。	おもてなしランナー協会
9. 応用講座 4月6日(水曜日) 21:30-23:30	応用講座	おもてなしランナーとしての実践的な役割について学びます。	おもてなしランナー協会
10. 応用講座 4月9日(土曜日) 21:30-23:30	応用講座	おもてなしランナーとしての実践的な役割について学びます。	おもてなしランナー協会

全15回のプログラム全てを修了した方には、「おもてなしランナー一級証書」
「おもてなしランナーTシャツ(非売品)」
を贈呈いたします。

募集申込はこちら! <http://www.omotenashi-runner.or.jp/>

おもてなしランナー育成プログラムのちらし（おもてなしランナー協会）

- 日本語での意思疎通が困難な海外からの来訪者等に対して図記号等を用いたアイテムを利用した支援活動や清潔な環境を維持する各種の活動を支援します。



図記号等を用いた意思疎通を助けるアイテムの例



さくらまつりの期間中美化活動を推進する「さくら美守り隊」



千鳥ヶ淵周辺で活動する自主的な清掃活動ボランティア

② 関係者のそれぞれの立場でのマナー（行儀作法）を向上させます

- ランナー、歩行者、観光客が共存できるよう今後も、マナー向上の取組みを推進します。
- 一方で、基盤整備等による歩道環境の改善に併せた更なるマナー向上やランナー誘導等についても再検討していきます。
- 利用者マナーの向上による快適な歩行環境の維持に努めます。

「皇居周辺歩道利用マナー」

皇居周辺歩道利用マナー
Manners when using the sidewalk along the periphery of the Imperial Palace

利用皇宮周囲人行道时的注意事项
황거 주변길 이용시의 안내

皇居周辺の歩道を利用する歩行者、ランナー、ウォーカー、自転車のための共通のマナーです。それぞれが思いやりの心をもって、みんなが気持ちよく利用できるようにしましょう。

皇居周辺マップ

- 1 日本武道館 (Nippon Budokan)
- 2 科学技術館 (Science Museum)
- 3 東京国立近代美術館 (National Museum of Art, Tokyo)
- 4 国立劇場 (National Theater)
- 5 最高裁判所 (Supreme Court of Japan)
- 6 国会議事堂 (National Diet Building)
- 7 東京駅 (Tokyo Station)

歩道は歩行者優先 (Priority is given to pedestrians.)

歩道をふさがない (Large groups should not spread or block footpath.)

狭いところは一列に (Be prepared to walk in single file on narrow roads.)

周回は反時計回り (Walk or run counterclockwise.)

タイムよりゆとり (Don't run too fast.)

ながら通行は控える (Stop listening to music, or talking on mobile while walking.)

自転車はすぐに止まれるスピードで (Bicyclists must slow down.)

ゴミは必ず持ち帰る (Take your trash home.)

思いやりの心で (Be considerate.)

まちの魅力向上に向けた道路等の公共空間活用検討会皇居周辺地域委員会
千代田区／警視庁／国土交通省東京国道事務所／環境省皇居外苑管理事務所／東京都第一建設事務所／千代田区連合町会長協議会／千代田区陸上競技協会
ランナーサポート施設・ランニングクラブ等連絡会／(一社)日本ウォーキング協会／(一財)日本自転車普及協会



「皇居周辺歩道利用マナー」促進のためのサイン等の整備

③ 周辺地域及び地域内での歩行空間の連続性の確保と移動円滑化をします

- 地域内にある全ての交差点や主要な歩行者空間とたまりの広場における移動、バリアフリー化を推進します。



田安門前横断歩道橋



みたけ橋横断歩道橋

- 駅から主要施設までのアクセス、歩行の移動円滑化を図ります。



電動車いす等の貸出



ペロタクシーなどの多様なモビリティの提供

- 公共交通利用を促進することと併せ、既設駐車場の有効活用のための案内システムや、周辺空地の有効活用等の検討を進めます。
- 自転車利用の促進のために自転車駐車場の配置や、コミュニティサイクルの利便性の向上を推進します。



コミュニティサイクル（ちよくる）ポート

④ 多様な活動を支援するサービス機能を充実します

○ 設置目的や多様な来訪者に合わせた案内のユニバーサルデザイン化を進めます。



駅における鉄道事業者の案内所
(東京メトロ 上野駅)



タッチパネル式のデジタルサイネージ
(東京メトロ 上野駅)



タッチパネル式のデジタルサイネージ
(都立上野恩賜公園内)



タッチパネル式のデジタルサイネージ
は夜間の視認性も高い

⑤ 適切な情報提供及び案内を充実させます

○ 公園、施設等を含めて案内板等を適切に配置することや統一化等に努めます。



千鳥ヶ淵緑道案内地区サイン 千鳥ヶ淵緑道誘導案内サイン 文化財サイン・標柱サイン
※千代田区公共サインデザインマニュアルより

○ 散策マップなどの充実とともに、各施設案内やPR資料等の相互配置等、新たな情報提供の方法も検討していきます。



観光案内所の窓口イメージ



情報コーナーイメージ



多様な散策マップのイメージ

(3) 皇居周辺地域の北に位置し、賑わいのある生活空間や社会活動空間として地域の人たちが参加するまちづくりを進めていきます

① 地域の方々とともに、北の丸公園周辺の公共施設の維持管理及び利活用について考えていきます

○ 北の丸公園周辺の主要施設を運営する方々や地域で活動・活躍する方々が集い、意見交換できるまちづくりを目指します。



北の丸公園周辺地域の方々の連携会議イメージ

② 立地する各施設のそれぞれの活動を尊重し、また、連携します

○ 魅力向上に向けたPRを相互推進するために、インターネット等を活用した新たなコンテンツの利用等、方法の検討を進めます。



北の丸公園周辺の新たなコンテンツの検討

○ 民間主導による施設の維持管理や利活用を進める上で大事になるのは関係者の協調的な行動を促すことであり、併せて活動自体が良好な環境の形成、魅力向上といった効果に加え、地域コミュニティにおいて関係者の対話と協働をもたらし、まちの個性の構築、まちへの愛着と誇りの醸成、社会関係資本の形成に役立つものとなります。

○ 実現するための課題としては、関係者間の合意形成の困難さ、安定的な活動財源の確保であり、財源についても管理委託費用や広告事業等からの収入、イベント収入等の事業収益を進めることが望まれます。



参考（一般社団法人淡路エリアマネジメント）：「淡路町を、神田を、もっと楽しいまちに」するため、組織の役割は、このまちに暮らす住民やワーカー、学生など、さまざまな人々の交流の機会を作り、コミュニティをはぐくむお手伝いをすることです。

V. 1 北の丸公園周辺地域構想図その1

北の丸公園周辺地域は、江戸時代から明治、大正、昭和、平成と受け継がれた歴史、自然に培われた地域の文化、魅力を守り、さらに育てます。

図 北の丸公園周辺における地域資源と整備課題



□九段坂公園の再整備

歴史的資源



景観（眺望）環境保全



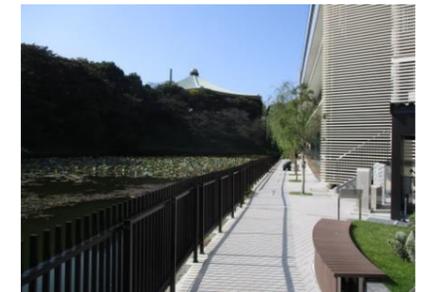
千鳥ヶ淵と桜

□水辺環境の保全



千鳥ヶ淵緑道の再整備
(平成 20 年度)

□水辺の歩行空間の連続性の確保



かがやきプラザオープン
(平成 27 年度)

□内堀通りの拡幅整備



内堀通りと清水濠

□代官町通りの再整備イメージ



凡例

- 主な公園への出入り
- 主な視点場
- ランニングコース
- 水辺の散策路
- 道路（車道）
- 公園・緑地等
- 建物
- 建物（公共施設等）

V. 2 北の丸公園周辺地域構想図その2

北の丸公園周辺地域は、それぞれの立場や障害の有無、価値観や文化の違いを受け入れ、誰もが安全・安心で快適に地域の魅力を楽しむことができますようにします。

図 北の丸公園周辺地域における整備課題



表 北の丸公園周辺地域の課題

区分	重点エリア1	重点エリア2
名称	九段坂(靖国通り)	代官町通り
概ねの区間	九段下駅から田安門前	竹橋駅から北桔橋前
整備課題① 施設整備等	<ul style="list-style-type: none"> ○九段下駅から田安門前までの連続したバリアフリールートを確認(区有地の有効活用含む)します。 ○北の丸公園から早稲田通り、靖国神社前へのバリアフリールートを確認(横断歩道橋のバリアフリー化や横断歩道の設置など)します。 ○横断歩道橋設置区間における歩道の通行の円滑化を図ります。 ○なお、靖国通り沿いの九段坂公園、千鳥ヶ淵までバリアフリーの歩行者ネットワークを延伸し、人の溜まる空間や休憩、イベント空間としての利用を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○竹橋駅から北桔橋前までの連続したバリアフリールートを確認します。 ○北の丸公園から東御苑へのバリアフリールートを確認(横断歩道橋のバリアフリー化や横断歩道の設置など)します。 ○横断歩道橋設置区間における歩道の通行の円滑化を図ります。 ○なお、代官町通りは、皇居、千鳥ヶ淵の眺望や国立近代美術館、工芸館など風格のある景観を楽しめる道路であり、皇居周辺を訪れる観光客や散策者が歩きたくするような歩行空間を創出していきます。
整備課題② ソフト対策	<ul style="list-style-type: none"> ○急な坂道の移動支援(電動車いす等のモビリティの提供、ボランティア等による介助など)を図ります。 ○駅周辺における情報提供(周辺の主要施設へのやさしい移動経路の案内など)を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ランナーと歩行者の通行の快適性の確保(マナーアップとランナーの歩行者の自然なすみわけなど)を図ります。 ○駅周辺における情報提供(周辺の主要施設へのやさしい移動経路の案内など)を図ります。

